



第152号
編集と発行
中部農業改良普及センター
〒904-2155 沖縄県沖縄市美原1丁目6番34号
(沖縄県中部合同庁舎2階)
電話 098-894-6521
FAX 098-937-2502

新たな沖縄県農業士誕生！～指導農業士3名～



伊波大志氏 安慶名米昭氏 當間大樹氏

沖縄県では、将来の地域農業を担う先進的農業経営者の育成並びに女性の主体的社会参画を促進するため、「青年農業士」、「指導農業士」及び「女性農業士」を認定しています。
令和6年度は中部地区から指導農業士3名が新たに認定されました。

指導農業士 安慶名 米昭氏（うるま市・肉用牛繁殖）

長年中部地区和牛組合員として活動され、相談役として地域や関係機関から厚い信頼を受けている。農林高校や農業大学校の実習生受入れや就農希望者への助言を積極的に行い、地域農業の担い手育成に貢献されている。

指導農業士 伊波 大志氏（うるま市・野菜）

令和2年に青年農業士に認定され、各種組織活動において役員を担い、組織の活性化に尽力される。就農希望者の研修受入を積極的に行い、また市内学童向けの農業体験や食育を行うなど地域農業の担い手育成に尽力されている。

指導農業士 當間 大樹氏（うるま市・観葉鉢物）

平成元年度に青年農業士に認定され、各種組織活動を牽引するリーダー的存在である。農業大学校、農林高校、農業青年クラブなどにおいて講師を務めるなど、担い手の育成に精力的に取り組み、地域に大きく貢献されている。

北中城村におけるパッションフルーツ産地育成

令和2年度より北中城村において、地域農業振興総合指導事業を導入し、「パッションフルーツ産地育成」の課題に取り組んでおり、「反収1.2t以上の農家育成」等を目標としています。

1 産地モデル農家の育成支援

北中城村のパッションフルーツ農家を中心に「植物の生長と養分吸収について～光や根っこや水編～」と題し、糖の生産や呼吸による消費、水の役割などの内容で勉強会を行いました。勉強会後のアンケートでは「基礎から学べて非常に分かりやすかった」や「CECの話が面白かった」などの感想があり、植物生理についての理解に繋がりました。

また、南部地区のパッションフルーツ視察を開催し、栽培状況や着果と結果枝の考え方など工夫して栽培していることを確認できたことから、今後の栽培方法の参考にしていきます。



勉強会状況



南部地区視察研修

2 パッションフルーツ反収向上への支援

展示圃ではハウスの高温対策として、既存の防虫ネット1mmから2mmに張替し、栽培検討の取り組みを行っています。ネット張替作業には生産者、役場、JA、普及の関係者が参集して9月に実施しました。その、展示圃において11月には地農指事業の関係者が集まり、意見交換を行いながら生育状況を確認しました。

また、栽培講習会は「定植前後の管理と台風対策」や「定植前に知っておきたい病害虫について」の内容で行いました。これにより植え付けや病害虫に対する技術習得に繋がっています。



展示圃作業状況



栽培講習会

3 産地支援体制の確立

地農指推進会議や総合指導チーム会議を地農指事業関係者が集まり実施しました。会議では、事業の取組内容、リーダー研修会の実施方法、生産実績などの検討を行いました。その中で、農家への支援方法について意見交換を行い、産地育成に向けて関係機関が連携して取り組んでいくことを確認しました。



地農指推進会議

いちょうびょう

キク萎凋病の対策に土壌消毒を👉

これまであまり発生が見られなかったキク萎凋病ですが、昨年夏から秋に中部地区の多くのほ場で確認されました。高温多雨という気象条件がキクに対して大きなストレスとなり、発生が助長されたと考えられます。発生があったほ場は土壌消毒を行いましょう👉
 また、土壌消毒はその他病害虫や雑草の防除対策としても効果的です。

キク萎凋病 病原菌 **フザリウム オキシスポラム**
 学名 *Fusarium oxysporum* Schlechtendahl: Fries (糸状菌 不完全菌類)

被害の様子

- ・株全体に症状が現れる。
- ・罹病株は、軽度の時は葉のわずかな黄化と萎凋を生じ、進行すると半枯れから全身の萎凋症状を示し、最終的には枯死に至る。
- ・罹病株上部の茎の導管部や葉柄の通道組織に褐変がみられる。
- ・根は褐色に腐敗する。



葉が片方に傾く、奇形 小葉化。



葉脈が浮き出るように黄変。



生育初期でも症状が見られる。1株のうち、症状発現は数本の場合もある。



全身の黄化、萎れののち、枯死。



茎内部の道管が褐変。



葉柄基部内部の維管束が褐変。

病原菌の生態

- ・罹病植物の根や茎葉の残さとともに土壌中に混和され、多くは厚壁胞子の形で長期にわたり生存する。
- ・土壌中に存在する病原菌が根から侵入することで感染が成立する。
- ・品種間に罹病性の差異が認められる。
- ・露地栽培では6~10月、ハウス栽培では3~11月に発生する。

発生しやすい条件

- ・連作すると発生しやすい。
- ・窒素肥料を過用すると被害が増大する傾向がある。

防除対策

- ・挿し芽を行う親株は、健全なものを用いる。
- ・無病畑で栽培し、連作を避ける。
- ・被害株は、早期に抜き取り適切に処分する。
- ・薬剤等による土壌消毒を行う。
- ・土壌消毒後は有機物などを投入し、微生物相の回復に努める。



中部地区農業青年クラブ連絡協議会 新規加入者募集

中部地区農業青年クラブは、青年農業者の生産技術向上と交流を目的に昭和46年に結成されました。令和6年度現在43名の会員が加入しています。

会員は随時募集中ですので、普及センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

- 入会条件：45歳以下で中部地区の農業に関わりのある方
- 年会費：3,000円



主な活動

・プロジェクト活動の実施

実践的な農業技術等の向上を目指して自分たちで課題等を設定し、問題解決に取り組み、その成果を毎年開催する実践発表会にて披露しています(10万円以内の助成制度あり)。

・資質向上研修会

農業に関する知識を深めるための座学研修、会員や指導農業者の圃場での現地検討会、県外への視察研修等を行っています。

・仲間づくり

農業青年クラブ員の相互の研鑽と交流を図るため、九州・全国青年農業者会議等へ参加するとともに、スポーツ交流会も行っています。

・地域貢献

農産物即売会(地域の産業まつり)にて会員が作った農産物を出品しています。

おきなわ花と食のフェスティバル・品評会にて入賞者多数選出

	氏名	市町村	品目名	
花き	沖縄県農業共済組合組合長理事賞 天久学	宜野湾市	フィスカス(鉢物)	
	金賞	山内正	読谷村	小ぎく
		比嘉芳子	うるま市	ヘリコニア
		山内慶子	読谷村	ドラセナ(青)
	銀賞	登川博	沖縄市	ドラセナ
		伊佐真幸	読谷村	ドラセナ
		安里盛喜	北中城村	ドラセナ
	銅賞	比嘉悟	読谷村	ドラセナ
		比嘉秀喜	うるま市	スプレーギク
		呉屋寛昭	中城村	小ぎく
		川上正人	沖縄市	小ぎく
		金城文雄	うるま市	小ぎく
		宮平憲勇	読谷村	小ぎく
		宮平洋	読谷村	小ぎく
		普久原朝仁	沖縄市	チューペローズ
		川上義和	沖縄市	ユーカリ
		山内清英	読谷村	ドラセナ(青)
		伊波薫	うるま市	ドラセナ
山内清英		読谷村	ドラセナ(白斑)	
山内清英		読谷村	ドラセナ(黄斑)	
稲峰盛一		嘉手納町	ドラセナ	

	氏名	市町村	品目名
野菜	沖縄県町村会長賞 安里昌治	中城村	島にんじん
	銀賞 島袋守直	うるま市	さやいんげん(関東)
	銅賞 金城盛勝	うるま市	セルリー
		喜屋武盛之	中城村
	又吉彩子	沖縄市	食用菊
沖縄県園芸拠点産地優良活動表彰(花き)	沖縄市花卉産地協議会	沖縄市	花き(小ぎく)
沖縄県園芸拠点産地優良生産農家表彰(果樹)	仲村盛宏	沖縄市	マンゴー
沖縄県農林漁業賞(園芸部門)	伊佐真幸	読谷村	花き(小ぎく等)
沖縄県農林漁業賞(園芸部門)	高良幸明	沖縄市	花き(小ぎく等)



仲村盛宏氏(左)と川満農林水産課長(右：沖縄市花卉産地協議会)

1月19日に「おきなわ花と食のフェスティバル2025」が那覇市の奥武山公園で開催され、中部地区から多数の入賞がありました。

受賞者の皆様、誠にありがとうございます。今後とも中部地区の農業振興にご協力をお願いします。